

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	作曲入門	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習	佐藤健	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経験歴]			
<p>企画開発会社でサウンドクリエイター（BGM及び効果音制作）サウンドディレクター（作品管理、スケジュール管理、外部との打ち合わせ）など担当。</p> <p>フリーランスではタレント事務所から企業までさまざまな業界へ楽曲提供やサウンド制作を10年以上経験。</p>			
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
<p>①音楽の基礎を使って音を組み立てる方法を知る</p> <p>②論理的思考を取り入れ音楽を制作していく</p> <p>③</p> <p>④</p>			
[授業全体の内容の概要]			
<p>①コード進行の仕組みについて</p> <p>②音階、スケールの使い方</p> <p>③メロディ、ハーモニー、リズムの関係について</p> <p>④</p>			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
楽曲の作りを理解し制作する			
[準備学習の具体的な内容]			
これまでに習ってきた音楽理論を使って作曲するための独自の考察を展開する			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
<p>使用テキスト</p> <p>テキスト</p> <p>参考文献</p> <p>必要に応じて授業の中で紹介する。</p>		<p>定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。</p> <p>・試験の点数は60点以上を合格点とする。</p> <p>・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。</p> <p>評価基準</p> <p>定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。</p>	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	Major Chord		
2回	Minor Chord		
3回	7 th 6 th Chord		
4回	sus2 sus4 Chord		

5回	メロディーとハーモニー I
6回	メロディーとハーモニー II
7回	コード進行 I
8回	コード進行 II
9回	Major Scale
10回	Minor Scale
11回	メロディーとリズムの関係性 I
12回	メロディーとリズムの関係性 II
13回	Dorian Modeを使ったアプローチ
14回	Phrygian Modeを使ったアプローチ
15回	Lydian Modeを使ったアプローチ
16回	Mixolydian Modeを使ったアプローチ
17回	Locrian Modeを使ったアプローチ
18回	ペントニックスケールとは
19回	ハーモニーとリズム I
20回	ハーモニーとリズム II
21回	メロディーとハーモニーとリズム I
22回	メロディーとハーモニーとリズム II
23回	メロディーとハーモニーとリズム III
24回	テンションコード I
25回	テンションコード II
26回	転調とは
27回	さまざまな転調
28回	セカンダリードミナントを使ってみる
29回	セカンダリードミナントテンション
30回	セカンダリードミナントスケール